活動指針 変わる時代に、変える覚悟を。具体的な政策を実現するには、多くの外的要因が立ちはだかります。

制度の壁、予算の制約、既存の慣習。それらは決して小さなものではありません。 だからこそ、私は「理想」だけを語るのではなく、

「やるべきこと」に向き合い続けます。 ここでは、私自身の活動指針を明確に示します。

現場の声を拾い、政策の根に据えること

市民と行政の距離を縮めること

地域資源を活かし、持続可能な仕組みを育てること

若い世代が希望を持てるまちをつくること

伝え方・魅せ方にも工夫を凝らす

ひとりひとりの プレイヤーが 輝ける平戸へ

まちの根幹をつくっているのは、行政でも制度でもなく、そこに暮らす 「ひとりひとりの人」です。

仕事や生活、挑戦や創造。それらが重なり合って、まちの魅力が生まれます。

平戸にも、ビジネスやまちづくりなど、それぞれのフィールドで知識や経験を活かしながら活動する多様なプレイヤーがいます。

しかし、彼らから共通して聞こえてくるのは | 行政に声が届かない | という切実な声です。

本来、地域のことには、行政と市民が近い距離で向き合うべきです。けれど、私自身もその間にある"見えない隔たり"

を感じています。だからこそ、行政の意識改革に取り組みます。そして、声が届く仕組みをつくります。

ひとりひとりの挑戦が、まちの力になる。そんな平戸を、みんなで育てていきたいと思っています。

